

# D1 Trend Method Style Vol.08

【 D1トレンドメソッドスタイル Vol.08 】

## 第8章 実践テクニック Part 3

# 第8章 実践テクニック Part 3

## ■チャートを理解するための必須知識【ライン編】

### ■はじめに

この章では、FXチャートを理解する上で必要知識である『ライン』に関する知識を解説していきます。

本来、FXトレードとしての『ライン』とは、多岐に渡る知識となってしまうのですが、この章で解説する『ライン』の知識は【D1 Trend Method Style】で必要となる部分に厳選して、このテキストを手にした全員が理解出来るようにまとめたものになります。

とは言え、FXトレードを長くやっていくに従って、これら知識では足りなくなりますが、FX初心者やこれまでFXで上手く分析が出来なかった方に関しての入門編としては、読みやすい内容になっていると思います。なので、まずは、しっかり読み込んで理解を深めることをおすすめします。

そもそも『ライン』とは何かと言えば、FXトレードを行うにあたって、最初に行うチャート分析で最も基本となる分析ツールです。

それは、どんな手法を使うトレーダーも『ライン』を引くことで、チャートを分析・理解するための材料としています。このことより一般的にFXにおいては『ライン』とは、重要であり基本と言われていません。

しかし、『ライン』は、しっかり学べば必ず誰でも精度の高い『ライン』を引けるようになりますので、臆することなく学んでいただきたいと思います。

ただし、『ライン』とは、シンプルなだけに奥が深いモノとなります。なので、意味を持ったラインを引くには、勉強が必要です。勉強とは、このテキスト読むことで得られる知識とチャートを見続けることです。

これから、ここで『ライン』をしっかり学んで頂き、FXトレードに対する理解の一つの材料として頂きたいと考えています。

# 第8章 実践テクニック Part 3

## ■チャートを理解するための必須知識【ライン編】

### ■ラインを引く理由

FXに限ったことでは有りませんが、人が投資に向き合った時、大多数の人々は【欲望】と【恐怖】の二つの感情に揺さぶられることとなります。

因みに、

【欲望】とは「儲けたいと思う感情」

【恐怖】とは「損をしたくないと言う感情」

この二つの感情がチャートに反映された結果として、チャートは上へ下へと波を打つこととなるのです。

従って、チャートとは、人間の【欲望】と【恐怖】という二つの行動心理で構築されていると言えます。

そして、その行動心理を浮き彫りにするのがラインです！！

世界中のトレーダーが、

「どの価格を気にしているのか？」

「次、どの価格を目指すのか？」

「今は、買いが優勢か？売りが優勢か？」

このような事を、『ライン』を引くことで俯瞰的に観る事が可能となるのです。

従って、『ライン』を引くという作業は、トレードを行う準備として、最初に必要な情報を手に入れるために行う重要な作業の一つであるという事です。

そのために、次項より特に我々が重要と考える『水平ライン』について解説していきます。

# 第8章 実践テクニック Part 3

## ■チャートを理解するための必須知識【ライン編】

### ■水平ラインとは？

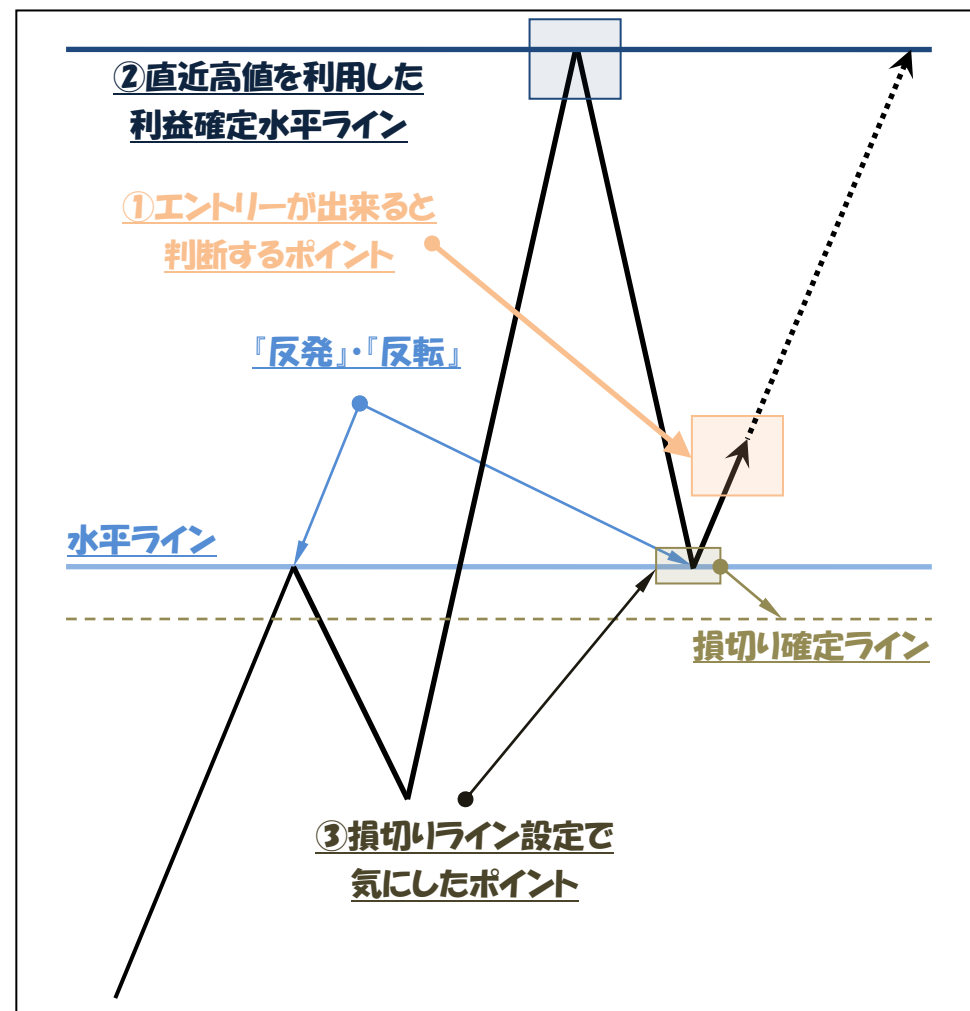
『水平ライン』とは、相場の流れの中で【反発】や【反転】の抵抗ポイントが絡んだラインのことを言います。

そして、チャート上に『水平ライン』を引くことで、

- ①エントリーの可否を判断する
- ②利益確定を予測する
- ③損切りを明確にする

以上の3つのポイントを読み取ることが出来ます。このことより、『水平ライン』とは、トレード行うにあたって必要不可欠なツールと言えます。

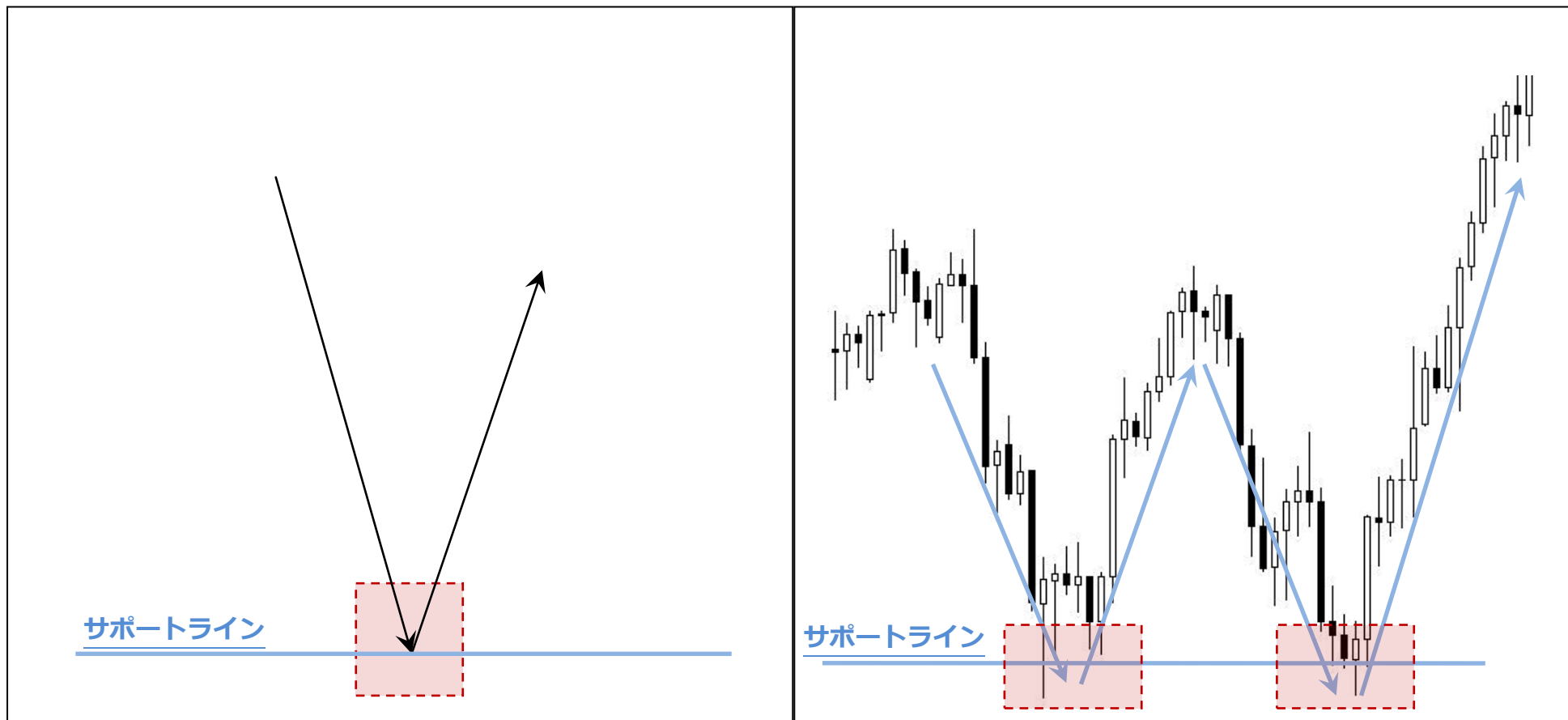
右参考図は、『水平ライン』を引くことで意味を持つ3つのポイントに関する一例です。



# 第8章 実践テクニック Part 3

## ■チャートを理解するための必須知識【ライン編】

### ■水平ラインの種類 / ①『サポートライン』(支持線)



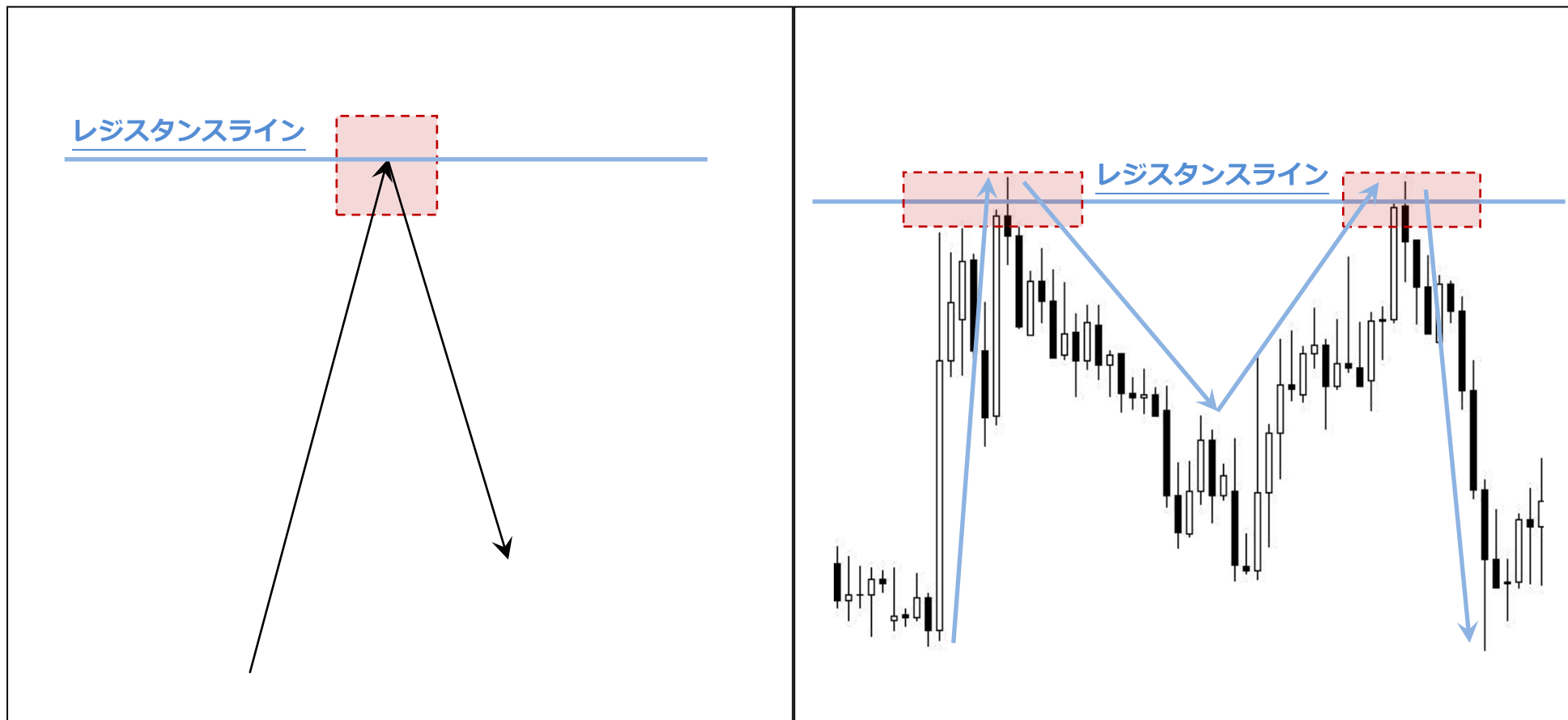
#### ①『サポートライン』(支持線)

相場の波が上から下へ向かって止まったローソク足の安値に引くライン。

# 第8章 実践テクニック Part 3

## ■チャートを理解するための必須知識【ライン編】

### ■水平ラインの種類 / ②『レジスタンスライン』（抵抗線）



### ②『レジスタンスライン』（抵抗線）

相場の波が下から上へ向かって止まったローソク足の高値に引くライン。

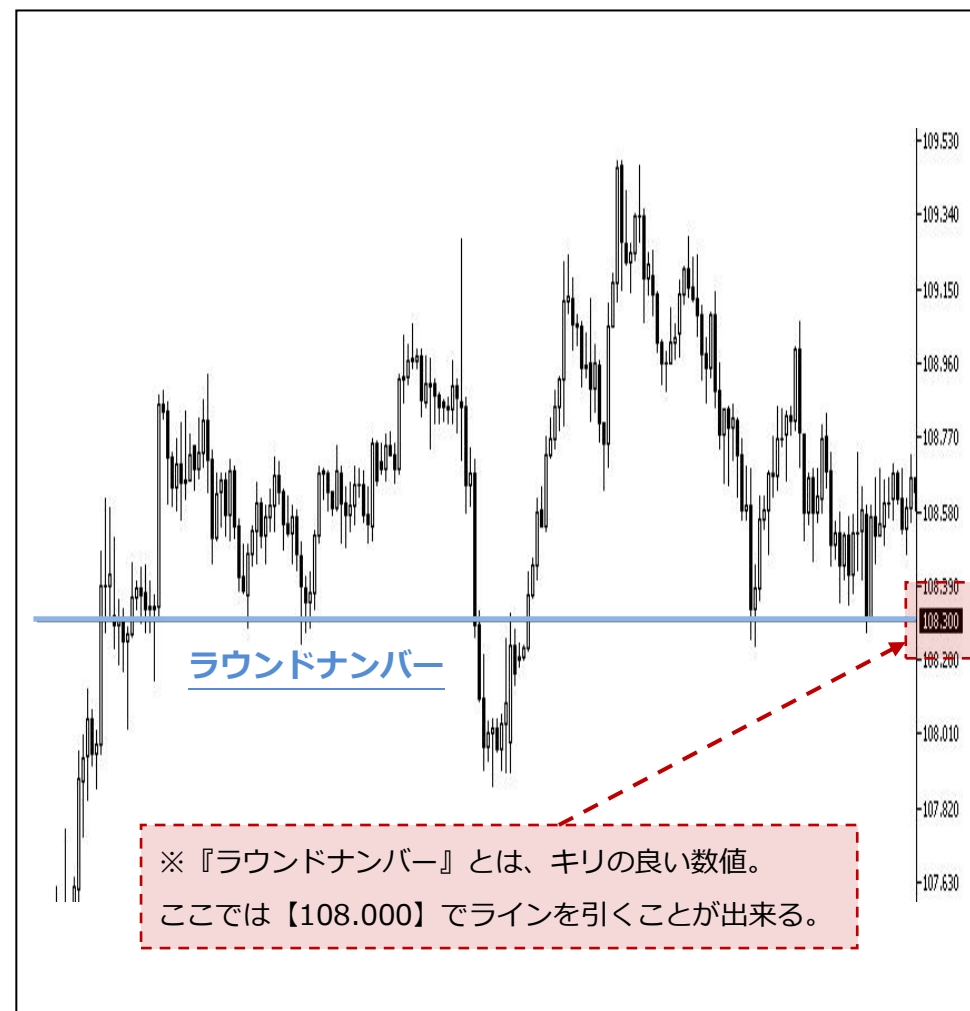
# 第8章 実践テクニック Part 3

## ■チャートを理解するための必須知識【ライン編】

### ■水平ラインの種類

#### ③『ラウンドナンバー』

価格の節目に当たるラインをこう呼びます。例えば、〇〇〇JPY なら 100.000 や 104.000、〇〇〇USD なら 1.20000 や 1.40000 や 1.31000 などの切のいい数字の『水平ライン』です。ここでは、多くのトレーダーが意識しているので、『レジサポ』と呼ばれるラインとなり一度止まってしまうポイントとなります。従って、とりあえず『ラウンドナンバー』にラインを引くのも一つのテクニックと言えます。



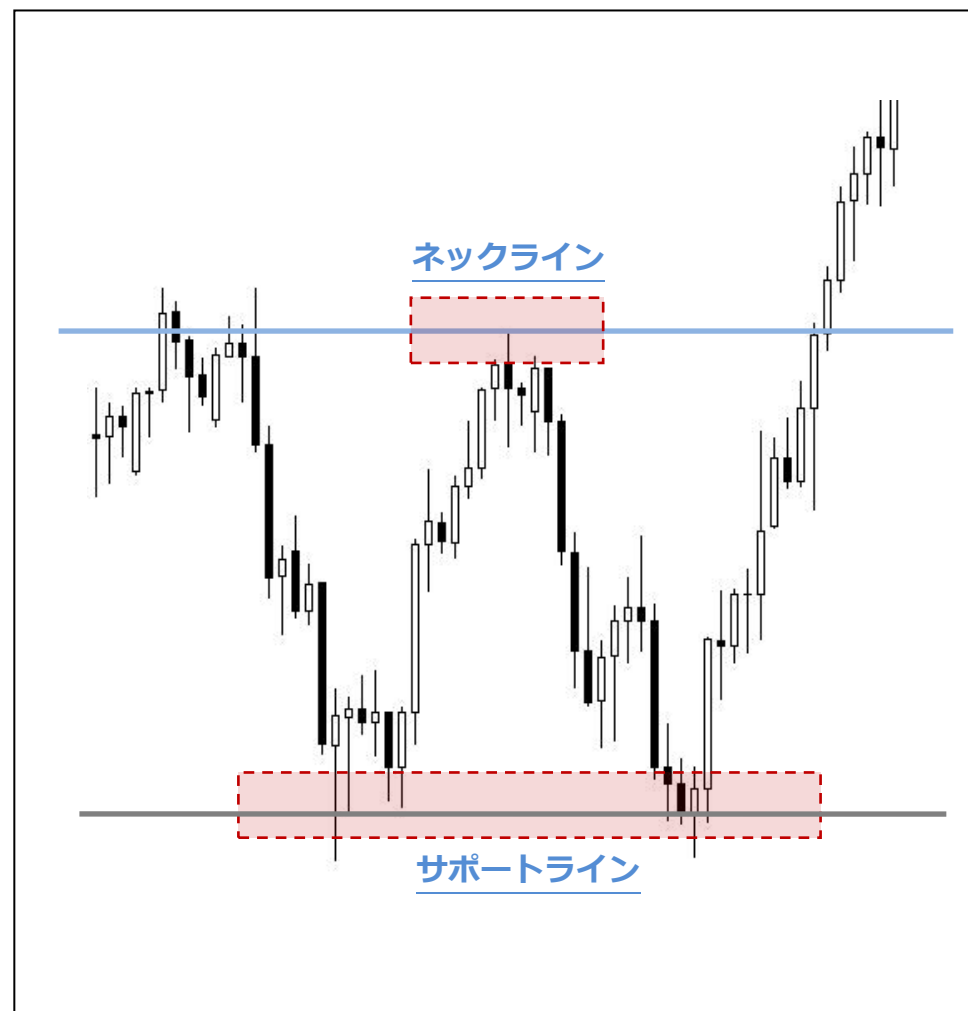
# 第8章 実践テクニック Part 3

## ■チャートを理解するための必須知識【ライン編】

### ■水平ラインの種類

#### ④『ネックライン』

次章で説明する水平ラインに関するチャートパターンでのV字以外のパターンにおいて確認することができる頂点を付けた元となったポイントの事を『ネック』と言い、このポイントに引く水平ラインを『ネックライン』と言います。





# 第8章 実践テクニック Part 3

## ■チャートを理解するための必須知識【ライン編】

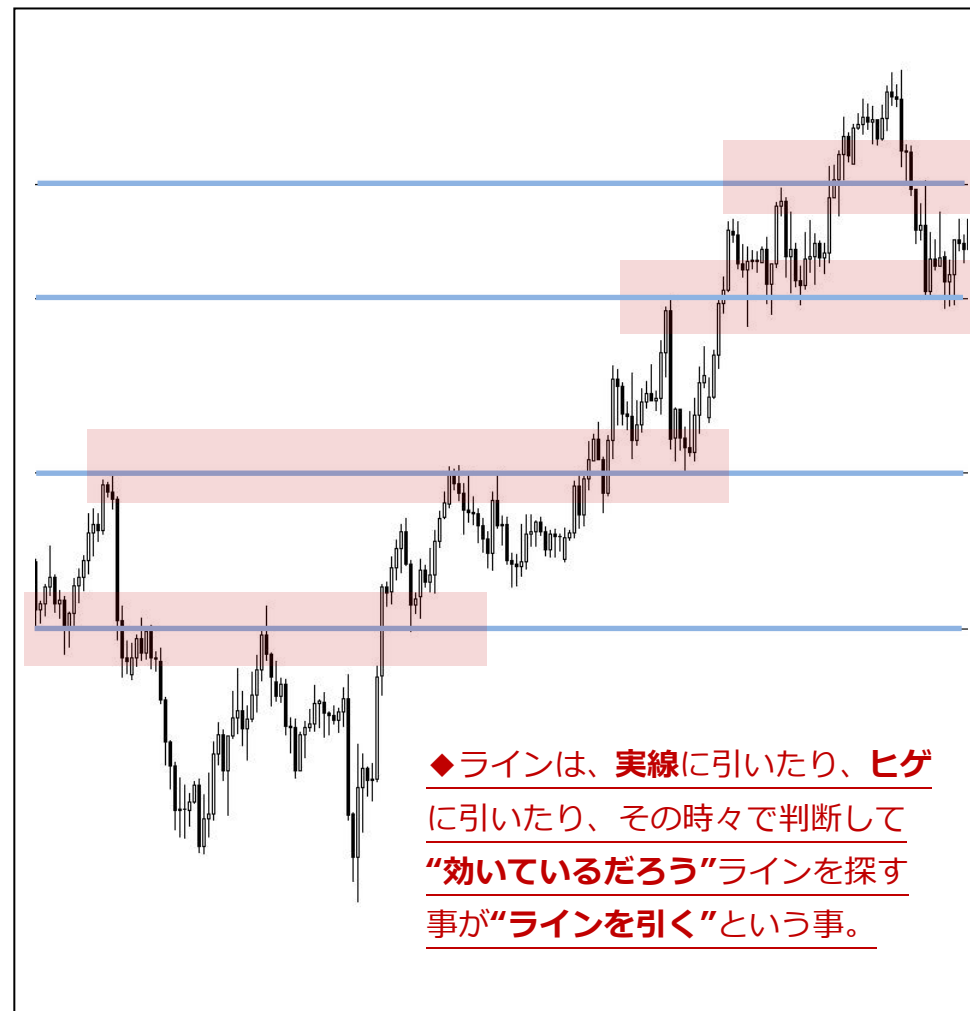
### ■ラインを引く時の注意事項

#### ○正確なラインを引こうとすること

これは、特に性格的にきちんとしないと気がすまないタイプの人に多くみられるので注意しましょう。丁寧にすることは大事ですが、精密にする必要はありません。

当然、きれいに0.1ピップスのずれも無く接している『ライン』が一番良いですが、そんな『ライン』は、ほぼほぼ引くことは出来ませんし、そんな『ライン』は必要ありません。これから引く多くの『ライン』では、「到達」「未到達」「抜け」となっているローソク足の情報を自分で見て咀嚼し判断して『ライン』を引くこととなるので、『ライン』に接しているローソク足のポイント（ヒゲ、実線）はざっくりと考えるくらいが望ましいです。従って、『ライン』を引く場合のテクニックポイントは、「完璧を求めないでざっくりと判断」となります。

因みに、そんな「到達」「未到達」「抜け」となっているローソク足をまとめた『ライン』という考え方の先に、『ゾーン』という考え方もあります。これは上級の考え方となりますので、ここでは説明はしません。



# 第8章 実践テクニック Part 3

## ■チャートを理解するための必須知識【ライン編】

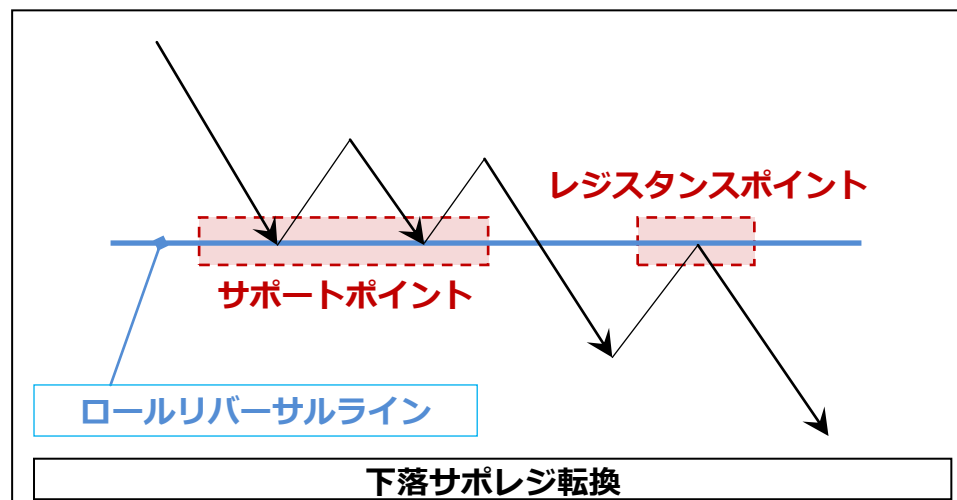
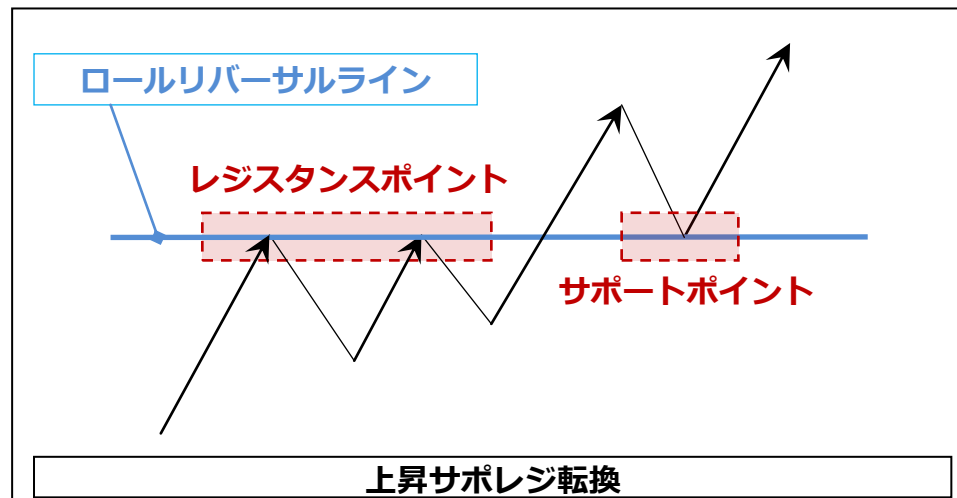
### ■水平ラインの種類

#### ⑤『サポートレジスタンスライン』（ロールリバーサル）

ブレイクアウトを確認した後に良く見られるチャートの形となるのですが、それまでサポートラインであったラインが抜けた後、押し目戻りとして戻ってきた場合には、レジスタンスラインとして機能してしまう事を『サポレジ転換（ロールリバーサル）』と判断します。

これは、逆も言える事となります。それまでレジスタンスラインであったラインを抜けた後、押し目戻りで戻ってきた場合には、サポートラインとして機能してしまうという事です。

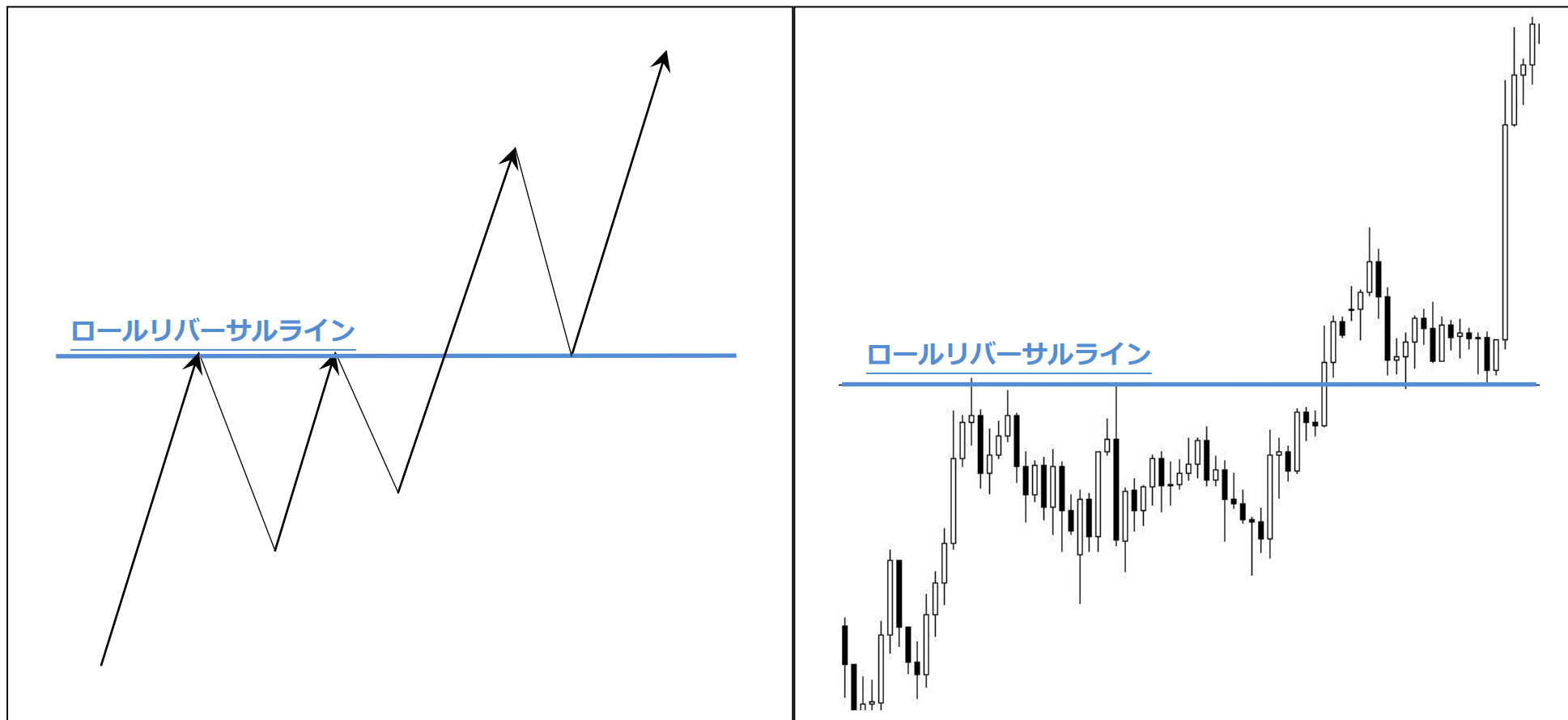
このチャートパターンは、ブレイクアウトをした時に同時に損切りが出来なかった人たちのポジションがそのまま保有され、トレンド転換狙いで押し目待ちをしている人たちのプラスマイナスゼロ付近での建値決済が集中してしまう上に、ブレイクアウトをしたという事実を背景に前頂点付近からの押し目新規注文が加わり、勢いに加速してしまうのです。



# 第8章 実践テクニック Part 3

## ■チャートを理解するための必須知識【ライン編】

### ■水平ラインの種類 / ⑤-1『上昇サポレジライン』（上昇ロールリバーサル）



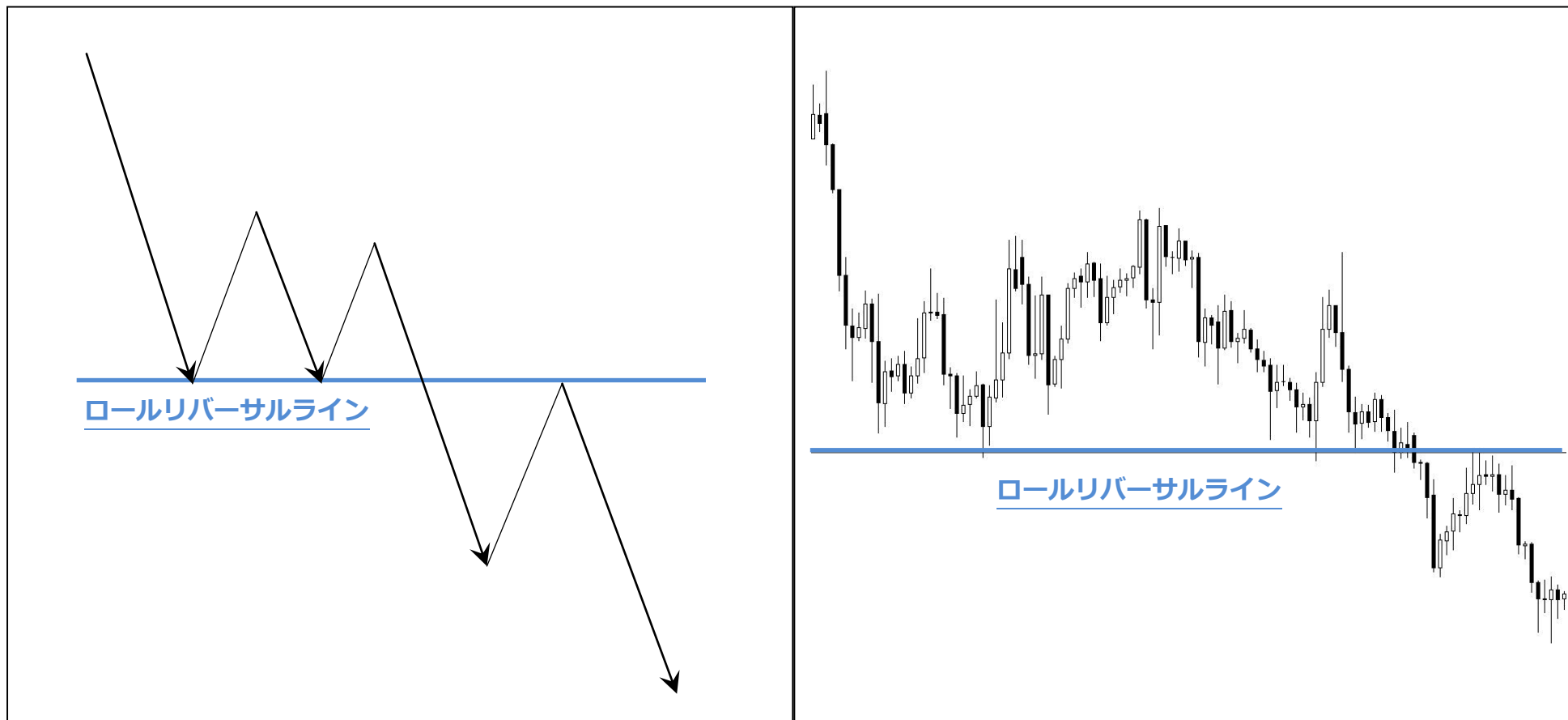
### ⑤-1『上昇サポレジライン』（上昇ロールリバーサル）

相場の波が下から上へ向かう波の途中で、『レジスタンスライン』と『サポートライン』を同時に確認出来るライン。

# 第8章 実践テクニック Part 3

## ■チャートを理解するための必須知識【ライン編】

### ■水平ラインの種類 / ⑤-2『下落サポレジライン』（下落ロールリバーサル）



### ⑤-2『下落サポレジライン』（下落ロールリバーサル）

相場の波が上から下へ向かう波の途中で、『レジスタンスライン』と『サポートライン』を同時に確認出来るライン。

# 第8章 実践テクニック Part 3

## ■チャートを理解するための必須知識【ライン編】

### ■上下を分けるラインとは？

チャート上において、下から上へ向かって止まったポイントや、上から下へと向かって止まったポイントが、3点以上が絡んでいる水平ラインを『上下を分けるライン』(サポートレジスタンスライン)と定義します。

補足説明になりますが、前ページで紹介した『サポートレジスタンスライン』と基本同じラインです。しかし、考え方として、直近のチャート状況に留まらず、チャートと広く見た場合(ローソク足を画面上に400本~500本出した状態)に確認出来るラインをここでは、『上下を分けるライン』と定義しています。

右参考図は、ローソク足が400本もありませんが、直近だけでなく、過去のラインが未来でも反発する例となるチャート図です。



# 第8章 実践テクニック Part 3

## ■チャートを理解するための必須知識【ライン編】

### ■まとめ

この章では、FXチャートを理解する上で必要不可欠な知識である『ライン』、特に『**水平ライン**』に関する知識を解説してきました。

特に最初に示した『水平ライン』から読み取ることの出来る3つのポイントが全てと言っても過言ではありません。

#### ●『水平ライン』から読み取ること出来るポイント

- ① エントリーの有無を判断する
- ② 利益確定を予測する
- ③ 損切りを明確にする

FXトレードにおいての手法によっては、『水平ライン』から読み取るポイントに対する扱いも多少は変わりますが、チャート上に引いた『水平ライン』から読み取ることの出来る内容は変わりません。

なので、このテキストの内容を生かして、チャート上にラインを引く練習をして頂くことが最初の理解となります。

とは言え、この【**D1 Trend Method Style**】は、FX初心者とFXを始めても成果の出なかった方達へ向けての手法であり、テキストになります。

なので、自分で考えることは素晴らしいことであり、必要な事ですが、ことFXトレードに関しては、今回、【**D1 Trend Method Style**】を手にとっていただいた方々には、成果・結果を出して戴きたいと我々も考えていますので、【**D1 Trend Method Style**】本編に付随する今回の【水平ライン】は有効なツールですので、有効活用するためにも時間をかけてでも、理解することを推奨します。